

コロナ第7波、物価高騰、円安!

市民生活を守る緊急対策を 市長に要望!

新型コロナの感染拡大第7波、長引くウクライナ戦争などの国際情勢、一層の円安進行などによる物価高騰や景気悪化が、市民生活、市内事業を圧迫しています。うじ未来会派では市民の家計を応援し、市内事業者の事業継続を支援するために緊急対策を要望いたしました。

うじ未来会派の要望

物価高騰に圧迫される市民の家計支援、新型コロナ感染症対策で引き続き停滞する市内経済活性化のため、幅広く利用可能なプレミアム付きクーポン事業を実施すること

国際情勢と円安進行によって拍車がかかる燃料価格・肥料価格高騰に苦しむ農業者を支援するため、ニーズを的確にとらえた農業支援策を適時・迅速に実施すること

生活困窮世帯及び低所得子育て世帯への生活支援に引き続き取り組むとともに、支援対象を拡大し、若者や非正規労働者子育て世帯などの生活支援を実施すること

第7波による利用減少で加算分の補助金が低減し、運営に苦慮する障害者就労支援施設への工賃支援、運営費支援を行うとともに、販売機会を失っている授産製品の販路拡大と原材料費補助を実施すること

食品・燃料価格高騰や水道料金価格改定による給食原材料費・水道光熱費・燃料費支出増大で運営が圧迫される、民間保育所、介護事業者などの福祉事業の運営費を支援すること

オミクロン株対応ワクチン接種体制を速やかに確保し、引き続き希望者への円滑な接種を実施すること

令和4年度 宇治市9月 補正予算

- 障害福祉施設物価高騰対策事業費
- 介護保険施設等物価高騰対策事業費
- 民間保育所等物価高騰対策事業費
- 私立幼稚園物価高騰対策事業費
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業費追加

これをうけて

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費追加
- 肥料価格高騰対策事業費
- プレミアム付デジタルクーポン発行事業費
- 住民税非課税世帯への5万円給付

令和3年度 決算委員会

今川議員が
委員長に就任!



真田・西川が委員として
決算を審査



令和3年度 一般会計歳出決算額

713億2,300万円

前年度に比べ 151億2,100万円減 (17.5%減)

9月定例会一般質問

(仮称)西小倉地域小中一貫校整備について

地域住民への説明責任と跡地活用の方針について、市に確認した。市教委は、これまで十分な説明ができていなかったことについて、重く受け止めており、今後は、地域の方々としっかり協議しながら、理解と協力をいただけるよう、誠意を持って丁寧な説明を尽くしていくと答弁。跡地活用についても、学校開放や避難所機能など、これまで学校が担ってきた役割はもとより、公共施設の機能も含め、様々な角度から検討し、地域の意見を引き続き聞きながら、総合的に判断していきたいとした。今後も、説明責任をしっかりと果たし、地域の皆さまの声を聞きながら、丁寧に進めるよう要望しました。

今川 みや 議員



文化・観光について

コロナ禍により、打撃を受けた観光やまちの活性化を進めていく上で、好機である文化庁京都移転と令和6年大河ドラマ「光る君へ」を市としても活かしていけないかと質問した。答弁では、市長より「文化庁京都移転、大河ドラマは共に好機と考える。文化庁移転においては文化の魅力を広げる取り組みを積極的に進め、京都府南部の文化の拠点となるよう進めていきたい。また、大河ドラマにおいては宇治市の歴史・文化資源を再ブランディングしていきプロジェクトチームを立ち上げ、宇治市の文化、観光の発展に活かしていく」という事です。

服部 正 議員



4常任委員会報告

総務 常任委員会

政策、財務、広報、消防などを担当



服部 正

第2期 宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の報告について

この創生総合戦略は、人口減少及び少子高齢社会への対応などへ施策を実施していくものであり、今回事業の報告があったものですが状況としては0～17歳は転入が転出を上回るものの、依然として18～29歳は大きく転出している状況であり、今後は子育て・産業、観光に力を入れ、人口拡大を進める、というものでした。

文教・福祉 常任委員会

教育、福祉などを担当



西川 友康

角谷 陽平

オミクロン株対応型ワクチン接種開始

対象者は初回接種(1、2回目)を完了した12歳以上の全ての方

接種予約、接種会場などの情報については宇治市ウェブページをご確認ください。▶



産業・人権環境 常任委員会

産業・観光振興、人権、環境、まち美化、農業などを担当



松峯 茂

岡本 里美

宇治十帖スタンプラリー～スマホで巡る～

「源氏物語のまち」として、宇治市の魅力を市内外へPRすることをめざし、宇治十帖のゆかりの地などを巡るデジタルスタンプラリーが開催されています。

(スマートフォンをお持ちでない方も、ウォーキングマップを利用して参加いただけます)

スタンプラリーはこちらから▶



建設・水道 常任委員会

建設、都市整備、水道などを担当



真田 敦史

今川 みや

宇治市建築基準法等関係事務手数料条例の一部を改正する条例を制定するについて

2020年10月内閣総理大臣所信表明で、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言されました。それを踏まえ、「脱炭素社会に向けた住宅・建築物における省エネ対策等のあり方・進め方」が取りまとめられた。ZEH(ゼロエネルギーハウス)の取組拡大に向け、普及促進の為、より申請をしやすくし手数料の一部を改正した。

環境に優しくしてくれてありがとうございます



うじ未来

議員紹介

- 松峯 茂 【まつみね しげる】
 - 監査委員
 - 議会運営委員会委員
 - 産業人権環境常任委員会委員
 - 城南衛生管理組合議会議員
- 真田 敦史 【さなだ あつし】
 - 議会運営委員会委員長
 - 建設水道常任委員会委員
 - 京都府後期高齢者医療広域連合議会議員
- 服部 正 【はっとり ただし】
 - 広報委員会委員長
 - 総務常任委員会委員
 - うじ未来 幹事

今川 美也 【いまがわ みや】 ● 建設水道常任委員会副委員長

岡本 里美 【おかもと さとみ】 ● 産業人権環境常任委員会副委員長 ● 城南衛生管理組合議会議員

西川 友康 【にしかわ ともやす】 ● 文教福祉常任委員会副委員長

角谷 陽平 【かどや ようへい】 ● 文教福祉常任委員会委員 ● 広報委員会委員